

■著者：山元浩二  
■発行：あさ出版／2015年10月21日

## 『小さな会社の人を育てる人事評価制度の作り方』

目に応じてウェイトを配分する手順を公開。また、運用面では、直属の上司・その上の上司・コーディネーター役の3者で構成する「育成会議」、上司・部下間の「育成面談」、チャレンジシートを基に1人10分程度のコミュニケーションを図る「毎月コツコツ面談」などの工夫を組み込んでいる。ここまでを3回にわたってトライアル実施し、そのうえで従業員の「納得度アンケート」の結果を見て本格スタートさせる慎重さも特筆的だ。シート類が収録された付属のCD-ROMもありがたい。

約350社の中小企業で試行錯誤を重ねて築き上げてきた評価と育成の仕組みを「ビジョン実現型人事評価制度」と名付け、読者企業ですぐ応用できるよう親切なガイドにまとめている。経営理念をゴール、経営ビジョンを中間目標と位置づけ、定量・定性の2方面から計画的に組織に落とし込んでいく方法論で、シンプルながら抜け道のない確実な展開が期待できる内容だ。評価制度の設計ではグレードを定め、業績・成果・能力・情意の目標項目(=評価項目)に整理し、職責・戦略項

図解 CD-ROM付 人事評価制度の作り方

図解

3ステップでできる!

小さな会社の人を育てる

- 1 「ビジョン実現シート」を作成する
- 2 「評価制度」をつくる
- 3 「ビジョン実現型人事評価制度」を実用する

# 人事評価制度の 作り方

坂本光司氏絶賛

山元浩二

本書の人事評価制度は、「人材を育てる仕組み」である。



- 体裁：四六版／221頁
- 定価：1,600円(税別)